



● 草の根パートナー型

平成20年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア
2. 事業名	小学校体育科教育振興プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>カンボジアでは、1970年代に続いた内戦で、施設、人材、教材等、教育システムが根底から破壊され、パリ和平協定から10年以上が経過した今、やっと生徒の環境に視点を当てた教育政策が検討され始めている。</p> <p>こうした背景の下、当会は、2006年2月からJICA草の根パートナー型事業を受けて「小学校体育科指導書作成支援」を開始。その結果、2007年4月には、教育省認定の「指導要領―保健体育編―」を完成させ、2008年4月には、カンボジア建国初となる「教師用指導書―保健体育編―」最終案を完成させた。</p> <p>教育省は現在、それらの指導要領と指導書を使用して体育授業を段階的に拡充させることを目指し、人材育成とシステム作りなどの基盤整備を急務としている。体育授業の全国的な普及に向けて、具体的には、まず、モデル5州でナショナルトレーナー（NT）を育成し、段階的なトレーニングを積んだ認定NTが講習会を独力で開催。その講習会を通じて、各モデル州内の小学校教員養成校（PTTC）教官およびモデル州小学校（CS）教員が指導書に則った授業が実施できるような体制にすることを目的としている。</p> <p>さらに、このプロジェクトによるモデル州への普及を足がかりに、最終的には、カンボジア政府主導で指導書に沿った一定レベルの体育科授業を全国に普及させることを期待している。</p>
4. 事業の目的	小学校に於ける体育科教育の基本的な普及体制を構築する。
5. 対象地域	カンボジア王国5州（バタンバン、シムリアップ、クラチエ、スヴァイリエン、シアヌークビル）
6. 受益者層	(1) 教育省ナショナル・トレーナー（NT）、(2) モデル州の中で、中心となる小学校教員養成校（5州5校/CC）の教官、モデル州の中で、中心となる小学校（5州10校/CS）の教員
7. 活動及び期待される成果	<p>1. 体育科教育普及のための組織が設置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WGから各担当領域のナショナル・トレーナー（NT）を選抜する。【委員会】 ● PTTC校長説明会およびPEO検討会を準備・実施する。【委員会, HG】 ● 選抜されたPTTCと小学校を分類し、各地域のモデル州を決定する。【委員会】 ● CCとCSへの事業前モニタリング調査を実施する。【NT, PEO, HG】 ● CCとCSへ事業後モニタリング調査およびフォローアップ指導を行う。【NT, PEO, HG】 <p>2. 体育科教育普及のための人材が育成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● NTへの一般及び専門集中講座を実施する。（年1回）【HG】 ● NTの認定テストを実施する。【委員会, HG】 ● モデル州のCCとCSへの事業前モニタリング調査を実施する。【NT, PEO, HG】 ● PNHで全PTTC（CCとAC）への集中講座を実施する。【NT, PEO, HG】 ● モデル州で開催する講習会場でCSとASへの講習会を実施する。【NT, PEO, HG】 ● 講習を受けた人材が各校で同僚教官に対する伝達講習会を実施する。【対象各校】 ● CCとCSへの事業後モニタリング調査とフォローアップ指導を行う。【NT, PEO, HG】 ● CCとCSが同一地域の対象校を招いた体育科研究授業を実施する。【CC, CS, PEO】
8. 実施期間	2009年6月～2012年6月（3年間）
9. 事業費	49,999千円（予定）
10. 事業の実施体制	<p>ハート・オブ・ゴールド（HG）より派遣されたプロジェクトマネージャー1名、プロジェクトオフィサー1名のほか、カンボジア教育省内にハート・オブ・ゴールド（HG）の出張所を兼ねて、新設された体育・スポーツ普及室でNT（8名）が本事業の中心業務を担う。</p> <p>HG本部担当者2名、及びHG在外事務所員2名が本事業の調整業務に従事する。なおHGは、NTを育成する目的で業務にあたり、筑波大学より専門家を派遣し、NT集中講座を開催するなどHGのネットワークを駆使した人材育成も導入する。</p>
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド（HG）
2. 活動内容	カンボジアおよび東ティモールにおける「スポーツを通じた国際開発」およびその他の人材育成事業
3. 対象国との関係、協力実績	<ul style="list-style-type: none"> ● カンボジア王国 小学校体育科指導書作成支援事業（JICA草の根技術協力支援事業（パートナー型）フェーズ I 2006-2008） ● チャリティー・マラソン/スポーツ大会の開催支援・共催 ● 青少年・指導者育成の祭典（教育省との共催イベント） ● 青少年健全育成「Youth to Youth」事業支援、政策提言、他